

近現代日本・中国・西洋の 相互理解と文化交渉

2020年

1月21日(火) 10:00~17:15

関西大学 千里山キャンパス
児島惟謙館1階 第1会議室

午前の部

趣旨説明・司会：陶 徳民（研究員、文学部教授）

10:00~10:45

研究報告1

劉 雨珍（南開大学外国語学院教授）

「張斯桂『使東採風集』の見た明治日本」

10:45~11:10

研究発表1

孫 東芳（東アジア文化研究科博士後期課程学生）

「津田梅子における女子教育の
理念及び実践とアメリカ」

11:10~11:35

研究発表2

邱 吉（東アジア文化研究科博士後期課程学生）

「1931年日華古今絵画展覧会の開催と
『対支文化事業』」 ※発表言語：中国語

11:35~12:00

研究発表3

李 瑞華（準研究員、東アジア文化研究科博士後期課程学生）

「『戦時体制』の余威を反映した『不毛地帯』
—山崎豊子の戦争記憶と戦後理解」

12:00~12:15

総合討論

午後の部

司会：吾妻 重二（研究員、文学部教授）

13:15~14:30

特別講演

Joshua A. Fogel（カナダ/ヨーク大学教授）

How Much Does an Understanding of History Help?

Naitō Konan's Reading of "Communism" in China

（内藤湖南の歴史知識はどこまでその中国「共産主義」への理解に
役立ったのか）

※発表言語：英語
※日本語による概要説明あり

14:40~15:25

研究報告2

陶 徳民

「内藤湖南と羅振玉・鄭孝胥との微妙な関係
—1917年と1933年の中国訪問をめぐって」

司会：劉 雨珍

15:25~16:10

研究報告3

劉 岳兵（南開大学日本研究院教授）

「張伯苓と南開大学の日本研究」 ※発表言語：中国語

16:10~16:55

研究報告4

長谷部 剛（研究員、文学部教授）

「林謙三とR.H. Gulik(高羅佩)、
饒宗頤との交友について」

17:00~17:15

総合討論

聴講無料・申込不要